

競技会参加にあたって

(一財) 福島陸上競技協会

I. 競技者

- ① 競技会 1 週間前から検温をし、指定(<http://gold.jaic.org/fukushima/covid19/r-activ6.pdf>) の体調管理チェック表に記入し、受付時に提出する。(チーム・学校の場合は代表者がまとめて提出) 提出しない競技者は、出場不可となる場合もある。
*以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ・体調がよくない場合 (例: 発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 運動時以外 (招集中・移動中・待機中を含) のマスク着用 (熱中症に注意)、競技終了後の手洗い・洗顔を徹底する。
- ③ 3密回避行動を心掛ける。
- ④ ウォーミングアップは、個別に行う。
- ⑤ 競技用具使用後は手洗い・手指の消毒をする。
- ⑥ 更衣室の滞在は、短時間にする。(シャワールームの使用を原則禁止とする)
- ⑦ 運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。
- ⑧ 体液の付着したゴミは自己責任で処理する。(基本的に持ち帰り)
- ⑨ 滑り止め (炭酸マグネシウム) は、各自準備する。
- ⑩ 競技会終了後、2 週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

II. チーム関係者・応援者・観客 (感染拡大状況により変更有)

*以下の事項に該当する場合は、自主的に観戦を見合わせること。

- ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- ① マスク着用（熱中症に注意）、手洗い・洗顔を徹底する。
- ② 3密回避行動を心掛ける。
- ③ 声を出しての応援、集団での応援を行わない。
- ④ 競技者に付き添う場合の競技者との接触、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意する。
- ⑤ 混雑を回避するため、競技者に付き添う者のウォームアップ場への立ち入りを最小限にする。
- ⑥ コーチがコーチ席から競技者に向かって話す際は、マスク着用の上、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ⑦ 競技会終了後、2週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

Ⅲ. 報道関係者

- ① 取材時はマスクを着用する。
- ② 開催1週間前の体調管理・検温の義務と体調管理チェック表の提出、及び終了後2週間の体調管理・検温を行う。
- ③ 会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心掛ける。
- ④ 取材人数・取材方法・取材エリアを順守する。
- ⑤ 競技会終了後、2週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

上記の内容について、ご協力いただけない場合には大会主催者が参加を断ることができる